

## Opensignal、インバウンド旅行者の国内モバイル SIM カード利用に関する分析レポートを発表

訪日客は“つながり損”している？ 現地 SIM のエクスペリエンス品質がローミングを大きく上回る  
訪日客 4,270 万人時代、空港・旅行導線での認知向上がオペレーターの新たな成長機会に

Opensignal（本社：ロンドン）は、日本を訪れるインバウンド旅行者の国内モバイル SIM カード利用エクスペリエンスに関する最新分析レポート、「[ローミングを超えて：日本のオペレーターがインバウンド旅行者を獲得する方法](#)」を発表しました。

本分析では、訪日旅行者の接続手段を「本国オペレーターのローミング」「旅行用 eSIM」「日本国内の現地 SIM」に分け、それぞれのエクスペリエンス品質や利用傾向を比較しています。

### 主な分析結果

- **現地 SIM は、ローミングより優れた体験を提供**

日本で現地 SIM に切り替えたユーザーのネットワーク品質指数（NQI）は 94.7%となり、旅行用 eSIM ユーザーの 87.6%、ローミング利用者の 73.6%を大きく上回りました。

#### In Japan, local SIM swappers see a better network experience than roamers or travel eSIM users



NQI (Network Quality Index) — percentage of tests passing all six quality thresholds simultaneously  
(Download  $\geq$  1,500 kbps, Upload  $\geq$  500 kbps, Latency  $\leq$  150 ms, Jitter  $\leq$  10 ms, Packet Loss  $\leq$  5%, Time To First byte  $\leq$  1,500 ms)  
Data collection period: Q3 2025 - Q2 2026 | © Opensignal Limited

NQI は、海外でインターネットに接続した際、Google マップ、旅行アプリ、SNS 投稿などの日常的なアプリを快適に利用できる接続環境がどれほど得られるかを示す指標です。単なる通信速度ではなく、旅行中の実際の使いやすさを反映します。

- **滞在期間が長くなるほど、現地 SIM への切り替えが増加**

短期旅行では、ローミングをそのまま利用する傾向が強く、3～7 日の滞在ではローミング利用率が 67%に達しています。一方、滞在期間が 2 週間を超えるとローミング利用率は 53%まで低下し、現地 SIM への切り替えが増加します。現地 SIM 利用者の割合は、2 週間超の滞在で 21%、4 週間超の滞在では 42%に拡大しました。

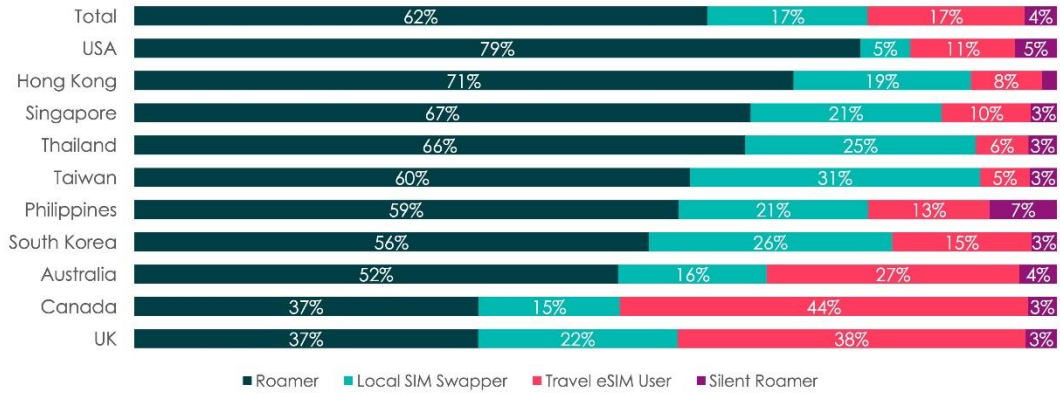
● **出身市場によって接続手段の選択は異なる**

アジア太平洋地域や米国からの訪問者はローミング利用率が高く、米国からの訪問者では 80%近くが本国オペレーターを使い続けています。

**The majority of visitors to Japan stick to their own networks roaming services**



Types of users travelling to Japan



Data collection period: Q3 2025 - Q2 2026 | © Opensignal Limited

一方、英国、カナダ、オーストラリアからの訪問者は、ローミング利用率が比較的低く、現地 SIM や旅行用 eSIM を選ぶ傾向が強く見られます。ローミング料金の高さや、代替手段への認知度が影響していると考えられます。

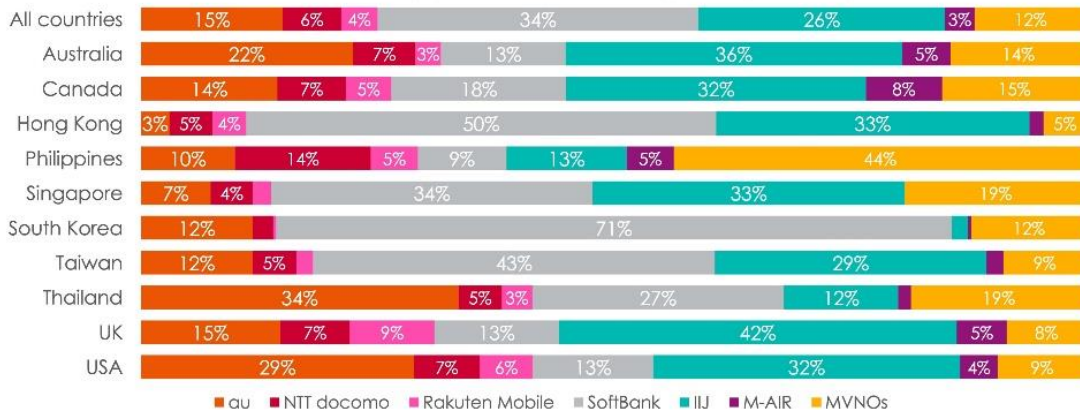
● **ソフトバンクが現地 SIM 切り替え市場をリード**

日本で現地 SIM に切り替えた旅行者のうち、ソフトバンクは 34%を占め、国内市場シェアを上回る存在感を示しました。次いで、IIJ が 26%となっています。

**Korean visitors overwhelmingly choose SoftBank when purchasing local SIMs**



Local SIM swappers networks in Japan by country



Data collection period: Q3 2025 - Q2 2026 | © Opensignal Limited

出身地別では、韓国や香港からの訪問者にはソフトバンクが人気を集め、フィリピンからの旅行者では NTT ドコモが最大シェアを占めています。au はタイからの訪問者でトップとなり、米国やオーストラリアからの旅行者にも高い支持を得ています。

## 日本のオペレーターにとっての機会

ローミングは手軽な一方、通信トラフィックがユーザーの母国ネットワークを経由する場合があります。遅延の増加やエクスペリエンス品質の低下につながる可能性があります。特に、日本から距離の離れた国・地域からの訪問者ほど、品質低下が大きくなる傾向があります。しかし、多くの旅行者はこの仕組みや、現地 SIM との品質差を十分に認識していません。

多くの場合、ローミングは明確に選ばれているというより、初期設定のまま使われています。この認知ギャップこそ、日本のオペレーターにとっての成長機会です。

日本の観光ブームは拡大を続けていますが、その恩恵が国内オペレーターの収益に十分還元されているとはまだ言えません。現地 SIM の価格、使いやすさ、体験品質を分かりやすく伝えることができれば、インバウンド市場はオペレーターにとって新たな成長領域となります。

## 参考資料

[ローミングを超えて：日本のオペレーターがインバウンド旅行者を獲得する方法](#)

注：内容は、英語版の翻訳です。日本語との内容に不整合がある場合、英語版が優先されます

## Opensignal について

Opensignal は、消費者のネットワーク・エクスペリエンスと意思決定に関する独立した知見を提供するグローバル・プロバイダーです。オペレーターは、Opensignal が提供するモバイルおよびブロードバンド・ネットワークに関する弊社独自のインサイトを活用することで、エグゼクティブ・レベルのスコアカードや公的検証から、特定レベルのエンジニアリング分析や消費者の意思決定に至るまで、利益の改善や、業界に勝ち残るためのソリューションを得ることができます。弊社の分析方法は独自のもので、高い透明性を担保し、すべてのオペレーターがネットワーク接続を継続的に改善できるよう支援します。弊社は米国、カナダ、英国に本社を擁し、南米とアジアに営業拠点を展開しています。

---

本件に関する問い合わせ先

Opensignal 広報担当

Adriane Blum

VP, Global Marketing and Communications at Opensignal

[press@opensignal.com](mailto:press@opensignal.com)

Opensignal 広報代理

担当：清水

[opensignal@jspin.co.jp](mailto:opensignal@jspin.co.jp)